

核兵器禁止条約に参加する政府の実現 10月行動推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2021年
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 10月20日

新潟 ミニパネル貼り出しで非核平和ゾーンを！



新潟県原水協の赤井純治代表理事は、町内、近所へ「市民と野党の共闘で禁止条約に参加する政府を」の横断幕デザインを見にパネルにしたものを貼ってほしいと依頼、かなりのお宅が応えて飾り出してくれています。

今回の選挙は投票率が決定的に重要ということで、新潟大学名誉教授の赤井代表理事が受け持っている講義「平和を考える」有志、同授業の担当教員有志、そして同大学平和サークル「imagine」がコラボして「選挙に行こうチラシ」を作りました。平和サークルの学生が最後に仕上げました。

10月31日は総選挙！

選挙に行こう、

その1票に意味はある

今回の選挙は日本の未来を大きく左右する大事な選挙です。
学生には、中学、高校、大学で学んできた様々な知性を
発揮してほしいと思います。

「自分は政治を専門に勉強している訳ではないから…」と
思う必要はありません。

あなたの1票も未来を変える力を持っています。

新潟大平和サークルimagine + 「平和を考える」受講生有志 + 「平和を考える」担当教員有志

最新情報は日本原水協 HP をご覧ください！ → <http://www.antiatom.org>

長野 横断幕とじゃばらポスターでアピール 市民の注目集める



長野県原水協は10月19日、署名行動をおこない、21人が参加しました。原水協、新婦人、県高教組でスピーチ。新婦人の若い方がじゃばらポスターをつかって元気にコールすると目を向ける人たちもいて、「オ！何が始まったんだ」という感じでした。「選挙に行って政権交代」などアピールできたと思います。

いつも6・9行動には何人も配置してくれる長野医療生協からは、急な日程にも関わらず6人が参加。若い事務局長が頑張っている長野市原水協からは5人が参加しました。（長野県原水協事務局長・丸山稔）

確かに情勢は変わっている

高松市内を1人宣伝、1週間で50か所！

香川県原水協事務局長・福井利夫

日本原水協の中四国ブロック会議のあと、1人宣伝できることを発見して、実践しています。

農民連でもあるので、畑仕事のみなさんには農民連の後援会として、人の混住しているところでは原水協として政権交代を訴えました。パワメガを借り、人のいるところに車を停めて幟をたてての辻宣伝です。この1週間で高松市内50か所（木太町、伏石町、香川町、一宮町、香南町、塩江町、川島町、三谷町、小村町、三木町）でおこないました。

宣伝では、「9月8日市民連合と4野党の政策合意には、『政権交代の暁には、核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバー参加すること』が明記されました。この合意は私たち原水協の禁止条約に参加する政府の目標と合致しています」「皆さん、核兵器禁止条約を批准する政府を、ご一緒に作ろうではありませんか。『核抑止力』論での安全は、神話です。『核戦争では勝者はいない』と米・ロ大統領も認めています。『唯一の被爆国』が、この条約に参加すれば、世界の諸国がナダレを打ってこの条約に参加するでしょう。そして、いま台湾海峡をめぐる危険な状態にある北東アジアが、平和・友好に舵を切る展望を作ろうではありませんか」と訴えると、手を振る方もいました。

確かに情勢は変わっていると感じます。